

☆作業日あれこれ

10月の第2土曜日は自宅から合羽を着て参加です。天候にかかわらず実施する遊林会ですが、降りしきる雨の中「初めて参加しますが、どうしたら良いんでしょうか…」とお尋ねの新人が見えたのには、遊林会のやり方を詳しく調べてのことなんだろうと想像してしまいました。観察会はキッシー担当でキノコの観察からと考えていたようですが、雨のために省略、キノコに関しての面白い情報だけを提供してくれました。昔からの言い伝えで、雷が落ちた木にキノコがよく発生することから、木に電気ショックを与える機械を売り出したメーカーがあるのだそうです。これを聞いていた大先生と炭焼名人は、ほだ木の手入れで木槌でたたく方法があります



これがあと約10個も！

、ショックを与えるのは一緒やなと頷いていました。マルは、電気ショックで樹中のかじがの幼虫が死にキノコの発生も増えるとなれば、朽枯れ対策、被害木処理、キノコ生産と良いことづくめ、メーカーにこの視点からの開発・販売を勧めようと言いました。電気ショックがどの程度で果たして樹中のかじがの幼虫が死に絶えるのかという疑問がありますが、実現すれば朽枯れが蔓延する中でタイムリーで価値ある発明です。次は森に一杯落ちていたドングリの話題です。この森のドングリの捕食者であるアカネミは一冬に10リットル位のドングリを食べるようですが、キッシーは1リットルのペットボトルにドングリを詰め、何個ドングリが入っているかを質問しました。ドングリとしては大きめのクヌギやアハラのそれで150個近く入るようです。とすると一冬1匹1,500個、15ヘクタルのこの森では200匹程度生息するならば一冬で30万個のドングリが消費されることとなります。この森の生態系調査ではアカネミの生存状況にはストレスがない(捕獲して幼体成熟が見られないかを確認)ことが報告されていますので、多分そのくらいのアカネミがいるのでしょう。毎シーズン、多くのドングリが子どもに拾われて持ち出され、推定30万個のドングリがアカネミにも食べられるわけですが、クは春先に林床に転がっている多くのドングリを見つけてはいつもほっとしています。それはアカネミが食べ残す

だけのドングリが、森にはまだあるんだと確認できるからだったのです。おまけですが、近年森では通いのクが多々目撃されるようになっていますが、アカネミを捕まえるためにこの森に来ていると考えています。クは滑空して獲物を捕らえますので、障害となる下生えのない森が必要です。いまの林床管理された森よりも荒れた下生えのある森の方がクが滑空できる空間は少なく、アカネミには過ごし易かったのではないかと考えます。ドングリにまつわる話を聞いた後は、ドングリ独楽作りと誰のが良く回るかの競争をトナメト方式で実施して一同童心に帰って楽しめました。



100歳をこえるコナラ

雨がひどく作業内容を雨バージョンに変更をしましたが、体験学習で使うクが不足していたので、青年部長をリーダーに合羽を着て竹材の伐り出しは決行です。目標50本とマル

から言われ、他の作業班が作業を終えた後も雨の中で黙々と作業を続けていました。いつもだと手の空いている者が手伝いに走るファイヤークの前での軽トラの荷下ろしも、合羽を着ていない他の班の連中は眺めるだけで申し訳ないことをしました。雨の日用の作業は、遊林会出席表示用のクを使用した名札作りです。道場などで壁の釘にぶら下げて使用するような物です。クは黄色く色付き始めたセイウチク退治を盆栽お宅を誘って始めましたが、池の畔でヨウガを発見、昼食材料として届けました。それを見られた大先生「わしもクを(昼食の食材を)調達してこ。」と心当たりの場所にお出かけになりましたが、賄い方の愛子様の「人手不足で忙しいのに、もう料理の品数を増やさんといて！」という心の声が聞こえたのはクだけでしょうか。

クリーム・シューに冬瓜や秋なすを使用した10種類のおかずについあれも進んでしまいます。キッシーといつものお昼のミーティングを終えたところで、マルが強い雨脚の外を眺めながら「この雨では作業はできませんので…」と期待通りの雨喜び宣言が出されました。皆様の白い目線が入らぬ訳ではなかったのですが、その後もテーブルを囲む者数名、延長戦を楽しんでおりました。

いつもと違うので注意！ → 11月23日(火曜日) 週日活动 森の居酒屋は11月10日 午後7時頃～

11月13日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)
主催者：遊林会

連絡先：東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163
Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

秋、穏やかに深まり…というには程遠い季節の移ろいを見せた今年は、10月26日を境にもう冬かという程の気候になりました。翌27日の第4水曜日、天気は良いものかなり冷え込み、みなさん厚着をしての参加です。しかし活動には良い気候であり、久しぶりのHさん始め新人さん1名を含む19人で作業を行いました。

この日の作業は炭焼き窯裏の「植生遷移にまかせるゾーン」で枯れていた2本のコナラ大木の伐採です。2本とも今年のナラ枯れで枯れたのですが、人手を加えないゾーンとは言え、ナラ枯れが発生した場合には伐採しないわけにはいきません。しかしここは長年手入れしていないこともあって、林は人を寄せつけないジャングル状態になっており、この日はまず作業用の進入路作りからスタートしました。一方でこのゾーンは今後も人手を加えないという位置づけですから切る木も最低限とします。結果的に木を倒す方向もピンポイントとするため、倒す木にくくったワイヤロープを手動で牽引するフルールという器具を使って伐採します。準備万端、いざ伐採！この日はベテラン揃いということもあって1本目は見事狙い通りに倒せました。倒した木は40cmに玉切りし後日薪割り作業にかけ、大量の枝葉は後日チップ作業にかけます。今回難しいのは2本目のコナラでした。1本目も相当な大木でしたが、2本目はさらに大きく、しかも太枝が左右に大きく張りだして重心の位置が非常に読みにくいのです。しかしみなさんの智恵と工夫により懸かり木（伐った木が倒れる前に他の木にもたれかかってしまう事。こうなると大変！）させることなくほぼ思い通りの地点に倒すことができました。

そしてお昼。今日は昼食班のエース松本さんをはじめスタッフの愛子さんも欠席ということでブンちゃんがリーダーに。おかずがたくさん揃わなくても何とかなるだろうと、メインは久々の「卵かけご飯」の予定だったのですが、遅れて3人の女性陣が駆けつけてくださり、しかも西村先生も調理や火の番を担当してくださったおかげで、思っていた以上に超豪華な水曜日らしいお昼ができました。

作業は午後からも継続、大木だった2本目のコナラもすべて処理し終え、スタッフの泉が年輪を数えてみると何と113歳だったそうです。そんな大木もわずか体長4mmのキノコがキムシに枯らされてしまうのですから何とも無常です。

☆10月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。10月は2回の活動を行いました。

10/14 5人 少人数でナラ枯れのコナラ大木を1本伐採。今回よりフルールを使用。1本処理するのに16:30までかかってがんばってくださいました。

10/21 9人 ナラ枯れのアラカシを1本伐採し、その

後は溜まっていた枝葉をチップにかけ作業してもらいました。

11月は18日が活動日です(11/4は休館日につき休止)。

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

森は秋の利用シーズン真っ直中、スタッフは息つく暇もありません。10月だけで来訪した学校等は約50あり、スタッフは1,600人以上の子どもたちに対応しました。もちろん子どもたちの相手をしているだけではなく、毎日異なるクイズやプログラムの作成や準備、打ち合わせなどに追われながらなので本当に目が回ります。そんな多忙な中、スタッフはせめて心豊かに(?)と思うせいか買い物ばかりです。今年から森に来たキッシーこと岸本は新型のデジタル一眼カメラを、ブンちゃんは中古の軽自動車を買いました。しかもブンちゃんはオートマではなくこだわりのMT車。森にはこだわり派が多いのか、今センターで勤務する市と遊林会スタッフ計8人のうち何と4人もMT車に乗っています。今時珍しい…

☆ 森のイベント情報

秋から冬にかけて、大人向けや親子向けのイベントで一杯です。

●里山でリースづくり

11月27日(土) 10:00~12:00

●落ち葉で年賀状作り

11月27日(土) 9:30~12:00

●はじめての森デビュー

11月20日(土) 11:00~13:00

11月27日(土) 13:30~15:30

●クリスマスコンサート

12月25日(土) 時間未定

どのイベントもまだ空きがありますので、森の方までお問い合わせ、お申し込みください。

☆11月の作業日

今年はまだ当分ナラ枯れで枯死した木の処理作業に追われそうです。しかし11月からは竹の伐採の適期。ナラも少なくなり、作業には良い気候ですよ。久しぶりという方もぜひ！

☆11月の第4水曜日は日程変更

11月の第4水曜日は祝日の翌日で休館日のため、作業は11月23日(火/祝日)に変更します。お間違えなく！祝日ですから第2土曜参加ワリの方もぜひどうぞ！

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！